

# I. 法人本部

## 【法人本部】

### 1. 総括

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の対応に追われる一年となった。当初掲げた計画や行政機関の指導等に基づき、各拠点において、地域のコロナ感染状況に即した事業所運営に努めた。収支においては、いわゆる「かかりまし費用」を活用することとし、補助金関係の申請書類の精査の下、東京都、千葉県、区・市等に申請を行い、経営の安定化に努めた。

また、コロナ禍において変化する感染者動向の把握を行い、まん延防止等重点措置及び関係機関、行政指導等に適合させるとともに、各拠点の住民の医療・介護・福祉ニーズ等を踏まえながら第5期中期計画を策定し、法人が目指す方向性の明確化を図った。2021年度の具体的な取り組みについては、以下に記載の通り、関係諸法令や規程に基づき適正な運営に努めた。

### 2. 2021年度重点項目及び個別目標に対する取り組み状況

(○印：達成 ●印：未達成)

No	重点項目及び個別目標	計画の実施状況
1	介護報酬改正に対応した法人及び拠点の安定経営のための事業検証を行う	○ 毎月の経営会議において、各拠点の課題について共有しながら、適宜対策を実施した。 ● 法人として統一を図るための給与制度の検討については未着手となる。 ○ 中期計画策定に合わせて、6ヶ年の大規模修繕計画を策定した。
2	新型コロナウイルス感染症の影響化における事業継続のための「新しい利用者サービス」の在り方を検討する	○ 新型コロナウイルス感染症に対応した事業継続計画（BCP）の見直しを実施し、実際に運用を行う。⇒ 今後も継続的な改善を計画。 ○ 利用者へのサービス提供については、実情を踏まえながら適時適切な対応に努めた。
3	必要な人材の確保及び定着を促進するために働きやすい職場環境の改善を図る	● 無資格者及び外国人労働者雇用に向けた各種法人諸制度の見直しには至っていない。 ● キャリアパス見直しや、育成と定着を主眼とした研修制度構築にも至っていない。 ⇒ 両課題について、今後の継続課題となる。
4	芙蓉会の理念に基づいた長期的な事業継続を念頭に第5期中期計画を策定する	○ 第5期中期計画「骨格」検討会議を立ち上げ、検討会議を中心に計画書を策定した。 ● 地域の福祉ニーズから見た法人の使命や事業の在り方等については、アフターコロナを踏まえ、継続的な検討課題となる。
5	地域の医療機関、協力医療機関との実効性のある連携について検討し、運営する事業や立地環境、施設形態等、各拠点の特性に応じて医療体制の安定的な確保に取り組む	○ 各拠点において、関係医療機関との連携強化に努めた。 ● 医療機関との連携の在り方に関する検証については、今後の継続課題となる。

### 3. 内部統制機能の強化への取り組み～諸規程類の整備

(1) 法改正や規程廃止に伴う、規程間の整合性確保のため、以下の規程について一部改正を行った。

- 1) 芙蓉会育児休業及び育児短時間勤務に関する規程
- 2) 芙蓉会介護休業・介護のための時間外労働及び深夜業の制限及び介護短時間勤務に関する規程
- 3) 芙蓉会ハラスメント規程

(2) 実態に即した形で苦情申出人の申し出先を増やす観点から、苦情対応規程の一部改正を行った。

### 4. 法人内部検査の実施

(1) 対象拠点及び実施日時

- 1) 芙蓉園：2021年10月8日（金） 13：30～14：30
- 2) 上総園：2021年10月15日（金） 13：30～14：30
- 3) 文京：2021年10月22日（金） 13：30～14：30

(2) 実施内容

- 1) 内部検査員：理事長、本部事務局長補佐、拠点副園長、参与、総務課長
- 2) 内容 ① 芙蓉会内部検査チェックリストに基づき、チェック項目に対する内容確認の実施
- ② 上記項目に基づく書類確認
- ③ チェック項目に沿ったヒアリング（オンライン（ZOOM）にて実施）
- ④ 内部検査チェックリストへのコメント記入ならびに拠点へのフィードバック
- ⑤ 内部検査結果報告書の作成と拠点へのフィードバック

### 5. 法人研修

No.	カテゴリー	テーマ	実施日	受講者数
1	財務会計・内部統制	初期対応の基本	11月～ 録画視聴	37
2	コンプライアンス	特定個人情報保護	6月～ 録画視聴	11
3	コンプライアンス	虐待防止研修 ～認知症への理解～	9月～ 録画視聴	170
4	コミュニケーション スキル	伝え方・受け方の基本 ～人材育成に必要なコミュニケーション スキル～	10月7日	40
5	キャリア形成・自律	今をみつめ、将来を描く ～自分自身の成長のために～	7月8日	10
			7月19日	9

## 6. 法人本部主催会議・委員会

会議・委員会	開催日 (実施回数)	主な審議事項	構成員
法人経営会議	月1回 第4火曜 (12回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芙蓉会の経営方針に関する協議</li> <li>・芙蓉会の中長期的経営・運営に関する協議</li> <li>・制度及び外部環境を踏まえた方向性に関する協議</li> <li>・その他経営上、必要な事項に関する協議</li> </ul>	理事長 業務執行理事 事務局長 事務局員 両園長 文京センター長 両副園長 両総務課長
法人事務局会議	月1回 第2火曜 (3回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各拠点の事業運営に係る課題の整理</li> <li>・各拠点の事業運営の進捗管理</li> <li>・事業継続計画に係る課題の整理</li> <li>・その他運営上、必要な事項に関する課題の共有化と協議</li> </ul>	事務局長 事務局員 両副園長 両総務課長 文京主任

## 7. 役員会等開催状況

### (1) 理事会の審議内容

開催年月日	審議内容
【第1回（書面）】 2021年4月1日	1. 決議事項 第1号議案 評議員選任・解任委員（外部委員）の選任について 第2号議案 会社役員賠償責任保険の更新について
【第2回】 2021年6月11日	1. 決議事項 第1号議案 2020年度事業報告案について 第2号議案 2020年度決算報告案について 第3号議案 諸規程の一部改正について (1) 芙蓉会育児休業及び育児短時間勤務に関する規程 (2) 芙蓉会介護休業・介護のための時間外労働及び深夜業の制限及び介護短時間勤務に関する規程 (3) 芙蓉会ハラスメント防止規程 (4) 上総園就業規則 (5) 上総園給与規程 第4号議案 次期理事、監事候補者の推薦について 第5号議案 評議員会の招集事項について 2. 報告事項 (1) 令和3年度における文京拠点の事業運営に係る支援について (2) 理事長、業務執行理事の職務執行状況報告について

<p>【第3回】 2021年7月3日</p>	<p>1. 決議事項 第1号議案 理事長の選任について 第2号議案 業務執行理事の選任について</p> <p>2. 報告事項 (1) 芙蓉会 法人規程（一部）について (2) 事務局より事務連絡について</p>
<p>【第4回】 2021年8月6日</p>	<p>1. 決議事項 第1号議案 業務執行理事の選任について</p>
<p>【第5回】 2021年11月20日</p>	<p>1. 決議事項 第1号議案 2021年度上半期事業報告 第2号議案 2021年度上半期会計報告 第3号議案 2021年度第1次補正予算について 第4号議案 第5期中期計画（案）について（協議により報告事項となる） 第5号議案 諸規程の一部改正について (1) 苦情対応規程 (2) 芙蓉園給与規程 第6号議案 芙蓉園 ベッド更新について 第7号議案 評議員の退任に伴う評議員候補者の推薦および評議員選任・解任委員（事務局員）の変更について 第8号議案 評議員会の招集事項について</p> <p>2. 報告事項 (1) 君津市東部地域包括支援センターの運営受託について (2) 文京拠点の土地建物契約及び協定の更新について (3) 芙蓉園 陰圧装置購入について (4) 理事長の職務執行状況の報告</p>
<p>【第6回（書面）】 2022年2月5日</p>	<p>1. 決議事項 第1号議案 理事候補者の推薦について 第2号議案 評議員会の招集事項について</p> <p>2. 報告事項 (1) 第5期中期計画（案）について</p>
<p>【第7回】 2022年3月17日</p>	<p>1. 決議事項 第1号議案 2021年度第2次補正予算（案）について 第2号議案 第5期中期計画（案）について 第3号議案 2022年度事業計画(案)について 第4号議案 2022年度収支予算(案)について 第5号議案 上総園屋上防水工事について</p>

	<p>第6号議案 経理規程の一部改正について</p> <p>第7号議案 会社役員賠償責任保険の更新について</p> <p>第8号議案 特別手当の支給について</p> <p>第9号議案 人事案件について</p> <p>第10号議案 評議員会の招集事項について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>(1) 君津市東部地域包括支援センターの運営受託について</p> <p>(2) 理事長の職務執行状況の報告</p>
--	--

(2) 評議員会の審議内容

開催年月日	審議内容
<p>【定時】</p> <p>2021年6月26日</p>	<p>1. 決議事項</p> <p>第1号議案 2020年度決算報告(案)について 会計監事監査報告</p> <p>第2号議案 次期理事、監事の選任について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>(1) 2020年度芙蓉会事業報告について 事業監事監査報告</p> <p>(2) 文京拠点における経営改善の取り組み及び令和3年度事業運営に係る支援について</p> <p>(3) 理事長、業務執行理事の職務執行状況報告</p>
<p>【第2回】</p> <p>2021年12月4日</p>	<p>1. 決議事項</p> <p>第1号議案 2021年度上半期事業報告</p> <p>第2号議案 2021年度上半期会計報告</p> <p>第3号議案 2021年度第1次補正予算について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>(1) 評議員の退任に伴う選任</p> <p>(2) 第5期中期計画(案)について</p> <p>(3) 君津市東部地域包括支援センターの運営受託について</p> <p>(4) 文京拠点の土地建物契約及び協定の更新について</p> <p>(5) 芙蓉園 ベッド更新および陰圧装置購入について</p> <p>(6) 理事長の職務執行状況の報告</p>
<p>【第3回(書面)】</p> <p>2022年2月19日</p>	<p>1. 決議事項</p> <p>第1号議案 理事の選任について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>(1) 第5期中期計画(案)について</p>
<p>【第4回】</p> <p>2022年3月30日</p>	<p>1. 決議事項</p> <p>第1号議案 2021年度第2次補正予算(案)について</p> <p>第2号議案 第5期中期計画(案)について</p> <p>第3号議案 2022年度事業計画(案)について</p> <p>第4号議案 2022年度収支予算(案)について</p> <p>2. 報告事項</p>

	(1) 人事案件について (2) 君津市東部地域包括支援センターの運営受託について (3) 理事長の職務執行状況の報告
--	---

(3) 評議員選任・解任委員会の審議内容

開催年月日	内 容
【第1回】 2021年 4月23日	第1号議案 社会福祉法人芙蓉会 次期評議員の選任について
【第2回】 2021年 11月26日	第1号議案 退任に伴う評議員の選任について

(4) 監事による監査

開催年月日	内 容
2021年 5月27日	1. 2020年度事業報告(案)について 2. 2020年度決算報告(案)について
2020年 10月26日、29日 11月2日	1. 2021年度上半期実績報告について 2. 2021年度上半期会計報告について

9. 施設設備・備品等の整備の実施

理事会審議案件のみ記載。それ以外の実施案件については、各拠点の事業報告に記載する。

項目名	金 額
芙蓉園 ベッド更新について	20,681,650 円

## II. 芙蓉園



## 【特別養護老人ホーム】(定員 190 名)

### 1. 2021年度 取り組み実績

#### (1) 利用者が心地良く生活できるよう取り組む

- 「丁寧な言葉遣いと笑顔」を目標に接遇力向上に向けて取り組んだ。取り組みの一環として「ありがとう活動」を実施した。利用者や職員への感謝や敬意の気持ちを「ありがとう」という言葉で伝える事で、良好なコミュニケーションや笑顔に繋がることがあり、成果が見られている。
- 環境整備については1か月毎に取り組み内容を決め実施した。月初めに取り組み内容の周知文を発信し、周知を行う事で意識化に繋がった。人道的に恵まれない環境下だったが、担当利用者の環境整備を中心に、職員一人ひとりが役割として捉え始めている。今後は習慣化を目指す。
- 年に2回、職員より家族へ、利用者の日々の様子を写真で伝える機会を作った。コロナ禍の為、家族等の直接面会は看取りの方に限定し、その他の家族等にはリモート方式での面会の協力をいただいた。

#### (2) 全職員の介護技術と知識を向上し、職員が自ら考えて行動できることを目指す。

- 褥瘡の予防については、外部講師による研修会を3回実施した。使用している排泄用具の特徴や性能を理解し活用することで、職員の知識・技術の向上へとつながった。
- 経口摂取やポジショニングについては、体験型や実践的な研修を実施したことで理解を深める事ができた。しかし、現場では活かされていない傾向にあり、来年度も継続して取り組んでいく。
- 記録の向上については、アセスメント表を活用し、多職種カンファレンスで情報を共有する事で、多角的な視点で個々の利用者を深く知る事ができた。
- 教育トレーナーによる集合型・出張型研修を実施した。また、マニュアルの周知研修として確認テストを実施した。来年度も継続し、ケアの標準化や職員の知識・技術の向上を目指す。

#### (3) 目標利用率97.5%を達成する(ショート空床利用実績を含める)

- 今年度、目標利用率実績(空床ショート含む)は95.6%。-1.9%で目標未達となった。
- 昨年度は退所者が延べ46名に対し入所が43名であった。今年度は延べ58名の退所に対して、入所が46名に留まった。
- 空きベッド数は、昨年度延べ2182床(空床ショート含む)。今年度はコロナウイルス感染対策や園内での発生に伴い3012床(空床ショート含む)で、830床増加となった。

## 2. 2021年度 統計

### (1) 3年間の利用率推移

	2021年度	2020年度	2019年度
目標利用率	97.5%	97.5%	97.5%
実績利用率	95.6%	96.9%	95.9%

### (2) 月別利用率実績 (定員 190名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
目標利用率 (%)	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5
実績利用率 (%)	95.6	94.6	94.6	95.5	95.4	95.7	95.3	95.7	96.6	95.3	89.5	88.3	94.3
平均利用者数 (名)	181.6	179.8	179.7	181.5	181.3	181.9	181.1	182.0	183.6	181.1	170.2	167.8	179.3
実績利用率 (%) 〔空床利用含む〕	96.8	95.7	95.7	96.7	96.7	97.1	97.2	97.1	98.1	96.2	90.4	89.8	95.6
平均利用者数 (名) 〔空床利用含む〕	183.9	181.8	181.9	183.8	183.7	184.5	184.6	184.5	186.4	182.8	171.8	170.5	181.7

### (3) 入退所状況

#### 1) 入所前生活場所 (名)

	在宅	介護保険施設	医療機関	介護保険施設 以外の施設等	合計
男性	6	1	4	0	11
女性	18	4	11	2	35
合計	24	5	15	2	46

#### 2) 退所理由 (名)

	ご逝去		長期入院	他施設入所		在宅復帰	合計
	芙蓉園	医療機関内		介護保険施設	その他の施設		
男性	8	2	5	0	0	0	15
女性	32	0	10	0	1	0	43
合計	40	2	15	0	1	0	58

### (4) 園内での看取りと加算取得について

園内での看取り	看取り介護加算取得
40名	27名

(5) 日常生活継続支援加算

1) 新入所者の割合 (要介護4若しくは5の割合が70%以上)

(%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前12か月平均 $\geq$ 70%	81.0	81.0	84.8	89.4	89.6	86.0	88.2	89.4	87.0	87.0	86.0	87.5
前6か月平均 $\geq$ 70%	91.3	91.3	91.7	92.3	90.0	78.9	82.6	87.5	81.8	80.0	82.6	94.1

2) 介護福祉士の割合 (常勤換算 利用者6人に対して1人以上)

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護福祉士数 $\geq$ 31.6人	40.9	41.1	40.0	39.5	37.9	37.5	37.7	35.7	36.6	35.4	30.1	32.5

## 【短期入所芙蓉園】（定員 30 名）

### 1. 2021年度 取り組み実績

#### （1）利用者が行きたいと思うショートステイを目指す

- ・今年度はコロナ禍の影響により、本来のいきいき活動やレクリエーションの実施は困難であったが、感染予防に努めながら時間を分けて行う少人数でのレクリエーションを考案し、利用者から好評を得る事ができた。
- ・接遇の向上は昨年度からの課題であった。ミーティングなどを活用し、適切な接遇の在り方や個々の意識の持ち方についての周知に努めたが、様々な要因が重なり、接遇に対する意識が薄れてしまった。来年度は接遇の意識を向上できるよう、方法を模索しながら継続的に取り組んでいく。

#### （2）ショートステイ利用後、入所時の心身の状態で在宅生活にもどれることを目指す

- ・新規利用者の増加や利用者の状態変化に合わせ、個々で情報収集に努めたが、職員同士で情報を共有することができず、個々の援助方法が異なる場面があった。現在のアセスメント書式では内容の簡潔さや枚数の多さが課題であったため、詳しい情報を1枚の用紙でまとめられる新書式のアセスメントシートに変更した。来年度は、新書式の周知を行い、活用していくことでケアの統一化を目指す。

#### （3）目標利用率 95.5%を達成する（ショート空床利用実績を含まない）

- ・利用者や家族に対して、ショートステイの活動報告を定期的を実施することができた。
- ・居宅のケアマネジャー宛に「空き情報」を定期的に発信することができた。また、昨年度より始めた利用者や家族への「空き情報」の発信も継続して実施した。
- ・相談員の営業活動を継続したが、コロナ禍の影響も大きく年度目標は未達となった。

### 2. 2021年度 統計

#### （1）3年間の利用率推移

	2021年度	2020年度	2019年度
目標利用率	95.5%	95.5%	93.5%
実績利用率	82.7%	81.8%	84.2%

#### （2）月別利用率実績（定員 30 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
目標利用率 (%)	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5
実績利用率 (%)	79.3	84.7	80.3	86.3	84.3	87.7	87.3	86.7	83.7	76.7	77.7	78.0	82.7
平均利用者数 (名)	23.8	25.4	24.1	25.9	25.3	26.3	26.2	26.0	25.1	23.0	23.3	23.4	24.8

## 【デイサービスセンター芙蓉園】(定員 29 名)

### 1. 2021 年度 取り組み実績

#### (1) サービスの提供について

- ・コロナ禍により、ボランティアの受入れが中止のため、日常の活動時間の中で感染症予防に配慮しながら個別の作品作りや季節を感じられるようなイベントを企画し実施した。4 月デコパージュ (3 名)、5 月フラワーBOX (15 名)、6 月絵手紙 (4 名)、7 月うちわ、8 月かき氷綿あめイベント、9 月やしそば大会、10 月絵手紙、11 月寅年の根付け (19 名)、12 月クリスマスバイキング、正月飾り (7 名)、2 月絵手紙、3 月花見ドライブ (3/28~4/1:36 名) を実施。その他、季節の花の寄せ植えを不定期に開催した。
- ・自立支援は、テーブル拭き、手洗いや消毒の徹底などの感染症予防対策を継続した。また、体調を確認しながら、日中にできる限り歩行していただける支援を提供した。
- ・感染症予防のため、1 テーブルで 2 名までを上限とした。また、利用者同士の関係性を考慮した配席を行うことで、居心地のよい環境を提供することに努めた。

#### (2) 家族や地域との関わり方について

- ・デイサービス通信を毎月関係各所に配布、フェイスブックを毎月 1~3 回更新し、活動の様子を紹介した。
- ・きらぼし銀行 (偶数月)、城南信用金庫 (奇数月) に作品展示を継続し、地域の中で身近な存在に感じていただけるよう努めた。
- ・毎年近隣の夏祭りで寄付していた手作り団扇は夏祭りが中止となったため、きらぼし銀行と城南信用金庫へ寄付した。銀行から好評だったとお話をいただいた。
- ・12 月に利用者、家族向けアンケートを実施した。当事業所への意見や要望を伺う事で、課題を把握することができた。スタッフ内で情報を共有し、今後のサービス向上に繋げていく。家族交流会は感染症拡大防止から今年度も開催を中止した。

#### (3) 専門性の向上への取り組みについて

- ・業務マニュアルは、書式を決定し、各項目の原案を作成中。
- ・デイ、ほのか、つるま屋、訪問介護のスタッフ参加の合同研修を毎月開催した。他法人との合同研修は感染予防の観点から中止とし、法人内研修のみ実施した。

#### (4) 目標利用率 82.5%を達成する

- ・2021 年度利用実績は 76.8%、目標より-5.7%で目標未達となった。感染症を不安視され利用自粛されている方や、園内の他部署での陽性者の発生時に利用を自粛された方がいた。また、1 月下旬にはデイサービスセンター内で感染症疑いのケースが発生し、3 日間にわたって営業を自粛した。
- ・年間を通して、新規契約利用者は 28 名、終結者は 32 名であり、登録者数は昨年度に比べ 10 名減少となった。また、3 月末で自粛されている方は 7 名となっている。新規

利用の問合せ件数は、昨年度 30 件、今年度 63 件と増加し、平年の件数に戻った。関係機関に適切かつ丁寧な説明を行い、新規の利用に繋げていきたい。今後も、感染症予防対策を継続して実施し、安心して利用できる環境を整え、利用率向上を目指す。

## 2. 2021年度 統計

### (1) 3年間の利用率推移

	2021年度	2020年度	2019年度
目標利用率	82.5%	86.5%	85.4%
実績利用率	76.8%	71.8%	87.3%

### (2) 月別利用率実績（定員 29 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
開所日数 (日)	26	26	26	27	26	26	26	26	25	24	24	27	—
目標利用率 (%)	82.5	82.5	82.5	82.5	82.5	82.5	82.5	82.5	82.5	82.5	82.5	82.5	82.5
実績利用率 (%)	78.9	79.2	80.0	82.0	71.7	76.4	84.5	84.1	79.3	69.9	59.6	76.2	76.8
平均利用者数 (名)	22.9	23.0	23.2	23.8	20.8	22.2	24.5	24.4	23.0	20.3	17.3	22.1	22.3

## 【認知症対応型通所介護芙蓉園（ほのか）】（定員 10 名）

### 1. 2021 年度 取り組み実績

#### （1）サービスの提供について

- 定期的にアセスメントとモニタリングを行い、個々の心身状況に合ったアクティビティを提供した。
- 新型コロナウイルス感染予防のため、今年度も外食活動は中止したが、感染が一時落ち着いた 10 月、11 月には外出活動を再開した。薬師池公園やぼたん園へ赴いたほか、3 月には車窓から恩田川の桜を眺める「お花見ドライブ」を実施することができた。
- フロア内では引き続き、感染対策を講じた上で各種活動を提供した。中庭でお茶を点ててお花見、柏餅などの季節のおやつ作り、室内でプチ夏祭り、季節の花を中庭に植えるなど、外に出かけられなくても季節を感じていただけるような活動を中心に実施した。
- 感染予防の観点から 1 テーブルあたりご利用者 2 名を上限とし、活動で使用した物品は都度消毒するなど感染防止対策を継続的に実施した。

#### （2）家族や地域との関わり方について

- きらぼし銀行南町田支店での作品展示（隔月）、広報誌発行（毎月）は継続して実施した。フェイスブックは月 2 回のペースで発信を行い、毎日のおやつ作りや活動の様子などを紹介した。
- 6 月には、利用者が手作りした七夕飾りを地域の子ども達へプレゼントするため「地域密着型通所介護つるま屋」にも協力を依頼した。コロナ禍のため直接の接触は避け、つるま屋の利用者が作成した筒に七夕飾りを入れ、つるま屋の玄関先に設置し、子ども達が自由に持ち帰ることができるようにした。
- コロナ禍のため、集合形式での家族会は今年度も中止した。家族のニーズを捉える手段として家族アンケートを 11 月に実施した。

#### （3）専門性の向上への取り組みについて

- デイサービス、ほのか、つるま屋、訪問介護を合わせた在宅サービス 4 事業所合同での研修を毎月実施した。
- 業務マニュアルは感染症流行下においても活用できるものを作成中。来年度も引き続き取り組んでいく。

#### （4）目標利用率 65.0%を達成する

- 2021 年度の利用実績は 51.0%。目標 65.0%から -14.0%で目標未達となった。園内の他部署で発生した新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染への不安から 1 ヶ月程度利用を自粛される利用者がいた他、デイサービス内での感染疑い者の発生により、4 日間の営業自粛があったことなど直接的な影響が挙げられる。

- 昨年度から利用率の低い状態が続き、今年度に入り新規利用者が11名増えたものの、それを上回る12名が利用終了となり、利用率の回復には至らなかった。利用終了の内訳としては、施設入所7名、県外への引越し1名、逝去3名、身体状況の変化による他事業所へのサービス切り替えが1名となっている。
- 今年度の新規利用者の特徴として、デイサービスセンター芙蓉園から認知症対応型へ移行するケースが例年と比較して多かった（3件）ことが挙げられる。デイサービスとは今後も密に連携を取りながら、利用者や家族にとって最善のサービスを提供できるように努めていきたい。

## 2. 2021年度 統計

### (1) 3年間の利用率推移

	2021年度	2020年度	2019年度
目標利用率	65.0%	70.0%	70.0%
実績利用率	51.0%	52.2%	70.6%

### (2) 月別利用率実績（定員10名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
開所日数(日)	26	26	26	27	26	26	26	26	25	24	24	27	—
目標利用率(%)	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0
実績利用率(%)	59.6	60.8	58.1	54.8	38.5	43.1	47.7	50.0	53.2	52.4	49.6	43.7	51.0
平均利用者数(名)	6.0	6.1	5.8	5.5	3.9	4.3	4.8	5.0	5.3	5.2	5.0	4.4	5.1



## 【地域密着型通所介護つるま屋】(定員 10名)

### 1. 2021年度 取り組み実績

#### (1) サービスの提供について

- ・参加者が作成した、靴べら、竹けん玉、竹とんぼ、紙トンボ(消毒済)を地域の方々へお裾分けし、参加者や地域の方との繋がりを継続することができた。
- ・畑で参加者と共に大根の収穫を行うことができ、参加者に達成感を味わっていただくことができた。
- ・「スターバックスクリーンアップ」は、コロナ禍のため中止となった。
- ・参加者と苗を取りに行き、「芙蓉の風(芙蓉園の花壇)」の水撒きを定期的に行った。
- ・今年度より、保育園に加え、新たに学童保育へ竹細工や門松のお裾分けを行うことができ、交流の幅が広がった。
- ・外出活動については、十分な感染症対策を講じると共に、安全な行き先を選定することで継続し、下肢筋力の維持に繋げることができた。

#### (2) 家族や地域との関わり方について

- ・「参加者と家族と地域を繋ぐ交流会ポラリス」は、コロナ禍のため中止となった。
- ・小学校の見守り活動や街ピカ活動は、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が解除された月に、少人数限定で実施することができた。
- ・定期的に、近隣小学校の花壇清掃に参加した。
- ・「みんなでごはん」(運営:たすけあい小川)へ竹細工をお裾分けした。地域の方々からは花やベルマーク、保育園からはメッセージカードをいただくなど、交流を持つことができた。
- ・感染症予防のため、参加人数を抑えた上で「どんど焼き」に参加し、近隣地域の方々との関わりを持つことができた。

#### (3) 専門性の向上への取り組みについて

- ・事例検討会は3回実施(1回はコロナ禍により中止)したことで、参加者への理解が深まり、今後の支援に繋がる機会となった。
- ・また、司会や発表などの役割を分担することで、全体としてのスキルアップにつながった。

#### (4) 目標65%を達成する

- ・新型コロナウイルス感染症の陽性者の発生等により、利用率実績は61.9%、目標より-3.1%で目標未達となった。
- ・利用者と共に行っていた居宅介護支援事業所への営業活動は、コロナ禍のため参加者は中止。十分に感染予防を行った上で職員のみで訪問した。
- ・フェイスブックへの掲載(毎週)、通信の発行(毎月)は遅延なく発信する事ができた。「月刊Day11月号」より取材を受け、つるま屋の取り組みが掲載された。

## 2. 2021年度 統計

### (1) 3年間の利用率推移

	2021年度	2020年度	2019年度
目標利用率	65.0%	65.0%	75.0%
実績利用率	61.9%	57.2%	60.3%

### (2) 月別利用率実績 (定員 10名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
開所日数 (日)	22	21	22	23	21	23	22	21	22	20	20	23	—
目標利用率 (%)	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0
実績利用率 (%)	77.7	76.2	73.6	69.1	60.0	59.1	51.9	54.1	58.1	57.0	53.5	52.2	61.9
平均利用者数 (名)	7.8	7.6	7.4	6.6	6.3	5.7	5.0	5.6	6.0	6.1	5.4	5.2	6.2

# 【ヘルパーステーション芙蓉園】

## 1. 2021年 取り組み実績

### (1) サービスの提供について

- ・調理技術向上を目的とした調理研修会を実施し、その研修風景をホームページや「ヘルパーステーション便り」に掲載する事でブランド化の推進を図った。
- ・介護保険外のニーズに対し、自費サービスの提供を行った。特殊なニーズのケースはなく、通常の「あったかサポート」（通院介助）のみとなった。

### (2) 家族や地域との関わり方について

- ・コロナ禍の中、地域が主催する取り組み自体がなく、行事等の中止により参加できる機会がなかった。
- ・関係各所との情報を密に行うことで、地域のニーズや状況を把握した。

### (3) 専門性の向上への取り組みについて

- ・ヘルパー講師のもと、調理実習を実施した。（7月5名、12月6名参加）
- ・調理実習の活動風景や職員情報等を「ふよナビ（園独自の求人サイト）」に掲載し、情報発信を行った。
- ・担当ヘルパー間でのサービスのバラつきを改善し、意欲向上を図る事ができた。
- ・年度始めに各ヘルパーに対して、個別確認表の記入を依頼し、個別育成計画の作成を行う事で、各ヘルパーの専門性意識の向上と個々の意欲等の把握ができた。

#### 【年間計画にある必須研修の実施】

	内 容
2021年 4月	運営方針・倫理
2021年 5月	感染症予防研修
2021年 7月	調理研修
2021年 12月	調理研修
2022年 2月	認知症ケア研修
2022年 3月	法令遵守（契約更新説明会）

### (4) 目標件数・時間数を達成する

- ・顔の見える関係性の構築を図るために、実績や利用者の報告書等はできる限り直接訪問による手渡しで実施（12回訪問）したが、コロナ禍のため、ケアマネジャーと会えない事業所もあり、顔の見える関係性の構築は困難だった
- ・ヘルパーステーション便り（情報誌）を定期的（年4回）に発行、芙蓉園ホームページへの掲載を行った。
- ・利用者の援助の終結、増回、曜日変更等に伴うヘルパーの勤務バランスの偏りを適時に調整し、新規利用者のニーズに迅速かつ柔軟に応えられるようにバランス調整を行った。

## 2. 2021年度 統計

### 1) 利用率過去3年間の推移

	2021年度	2020年度	2019年度
目標件数	5,657件	9,140件	10,410件
目標時間数	5,484時間	9,140時間	10,000時間
実績件数	5,794件	7,086件	8,754件
実績時間数	5,641時間	6,972時間	8,670時間

### 2) 自費サービス（あったかサポート）による訪問介護 (時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自費	33	29	30	25	25	32	33	29	31	31	32	29	359

# 【居宅介護支援事業所芙蓉園】

## 1. 2021年度 取り組み実績

### (1) ケアマネジメントの資質向上

- 1) リ・アセスメント基本支援シートを活用し、情報整理を行う。
  - ・アセスメントの書式を、順次、リ・アセスメント支援シートへ移行したことにより、聞き取り時の項目を標準化することができ、より詳細な情報を得ることができるようになった。
- 2) リ・アセスメント支援シートを使用し、ニーズ・課題抽出・整理を行い、その人らしさのあるケアプラン作成を行う。
  - ・リ・アセスメント支援シートを活用したアセスメントを、今年度より事業所として本格的に実施した。今まで聞き取りができていなかった項目がより明確となり、モニタリング時の確認の精度や効率性が向上した。
- 3) 所内会議・研修を通して、ケアマネジャー1人1人がスキルアップし、業務の標準化を目指す。
  - ・法定研修のみならず、ケース検討、事例検討、リ・アセスメント支援シートの模擬作成等の多種の所内研修を実施し、各ケアマネジャーのスキルアップや業務の標準化に努めた。

### (2) 地域包括ケアへの取り組み

- 1) 同法人内の強みを活かし、高齢者支援センターの業務内容を理解し、地域包括ケアの取組みに協力をしていく。
  - ・今年度は虐待ケース等で、高齢者支援センターと情報の共有を行いながら課題解決に取り組む機会が多く、結果として、昨年度以上に高齢者支援センターの業務の理解や相互の連携を深めることができた。
- 2) 高齢者支援センターが開催する会議等へ積極的に参加するとともに、ケアマネジャー間の横の連携を深める為、研修企画チームの運営をし、研修の開催・参加をする。
  - ・地域の研修会や会議等については、コロナ禍のため、ほとんどがオンラインでの実施だったが、積極的に参加し、知識や能力の向上に努めることができた。
  - ・他の居宅事業所と、オンライン等での会議や交流の場を定期的に持つことで、事業所内だけの考えや価値観に偏ることなく、柔軟かつ広い視野でマネジメントを行うことができた。
- 3) 事業所内での情報共有の徹底を図る。
  - ・毎日の朝礼、週1回の所内会議を実施し、事業所内での情報共有を継続的に行った。
  - ・感染症予防対策のため、在宅勤務を実施した。ZOOM等のツールを活用することで、距離を隔てても、問題なく情報共有を行うことができた。

### (3) 計画的な人材育成

- 1) 事業所全体及び個別の年間計画を策定し実行することで、知識と技術の向上を図る。
  - ① OJT：所内会議にて個別事例を用いた事例検討を行う。(月1回)
  - ② OFF-JT：人事考課表の1項目に具体的目標を掲げ、自己評価及び次なる課題の抽出を行う。
    - ・OJTについて、研修という形態のみに拘らず、机上においても常時実施した。

- ・毎月1回以上は事例検討を実施した。
- ・OFF-JTについて、コロナ禍により外部研修の開催中止や延期が多かったが、各自の掲げた自己目標については、概ね習得することができた。

#### (4) 目標件数を達成する

- 1) 持ち件数のバランスを考慮しながら、積極的に新規の受入をする。
  - ・新規のケースについては、断らず受け入れるという姿勢を堅持した。
  - ・担当した職員が、そのケースの全責任を負うのではなく、事業所全体でケースを把握することで、各担当の負担軽減を図った。
  - ・目標総件数1488件（月平均：介護119件、予防5件）に対して、実働総件数としては1404件（月平均：介護107件、予防9件）となり、目標未達となった。

## 2. 2021年度 統計

### (1) 利用者数実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
目標件数	113	115	117	119	121	123	125	127	129	131	133	135	1,488	
実績	要介護	111	108	115	110	109	109	113	106	105	104	101	99	1,290
	要支援	4	4	5	5	8	8	10	9	17	15	15	14	114
	総件数	115	112	120	115	117	117	123	115	122	119	116	113	1,404
	1人当たりの担当件数	28.8	28.0	30.0	28.8	29.3	29.3	30.8	28.8	30.5	29.8	29.0	28.3	351.4

# 【南第1 高齢者支援センター】

## 1. 2021年度 取り組み実績

### (1) 地域ネットワークの充実

#### 1) 地域ケア個別会議や地域ケア推進会議の開催

- ・今年度はコロナ禍の影響もあり、南第1としては初のオンラインでの会議体を形成し、以下の通り実施した。

##### ① 地域ケア個別会議について

- ・認知症を患う独居高齢者や、複合的な問題を抱える世帯について、地域住民や警察、店舗、障がい分野支援者など様々な関係機関を含めた地域ケア個別会議を複数開催し、情報共有や見守り体制の構築などを行った。

##### ② 2021年度 地域ケア推進会議 実施一覧

開催日	テーマ	会場	参加人数
7月17日	意思決定支援「今から知っておこう！ 成年後見制度＋遺言のこと」	ZOOM	32名
9月17日	南圏域「感染症に強い地域を作るために」	ZOOM	54名
10月13日	「虐待の芽をつむために」Ⅱ	ZOOM	48名
12月17日	南圏域「感染症に強い地域を作るために」	ZOOM	48名

- ・地域ケア推進会議では昨年度、コロナ禍により延期となっていた「意思決定支援」他、「虐待の芽を摘むために」では事前に50事業所にアンケートを実施し、虐待の早期発見・早期介入を行うためには、住民ほか多職種が関わり、支援チームを作っていくことの必要性を確認した。そのほか南圏域では、2020年度から引き続き「感染症に強い地域を作る」をテーマに地域課題を集約。「ADLの低下や認知症の進行」が浮き彫りとなった。今後は、専門職による地域に向けた情報発信が必要であることを確認し、来年度は更に具体化していく。

#### 2) 高齢者の見守り支援体制の拡充

##### ① 出張相談やイベントについて

- ・定例になっている東急ストアつくし野店での出張相談会に加え、今年度は新たに南町田でも開催することができ、気軽に相談できる場づくりの一環として高齢者支援センターやあんしんキーホルダーの周知を行うことができた。鶴間公園でのイベントなどにおいても、幅広い年代に対し、見守りについての広報・周知を行うことができた。鶴間地域に対しては、戸別訪問をおこない実態把握とニーズ調査を行うことができた。

##### ② 地域に向けた見守りの輪づくり

- ・今年度も感染症の影響が読めない中、オンラインでの開催を実施した。民生児童委員に向けては地域の見守りの実情についてアンケートを実施した。その他、東京都消費者生活総合センターに協力を依頼し、オンラインで寄席と合わせて消費者詐欺防止講座を開催した。また、感染症長期化の影響か、見守りへの機運も高まり、センター全体で協力

しながら、自主グループ、老人会、マンション住民に向けた見守り普及をテーマとした講座を実施している。交流が図りにくい状況が続き、住民同士の自主的な見守りへの危機感も募らせていることが窺われ、支援センターへの講座依頼も増えている。来年度も様々な手法を用い、より連携強化が図れるよう、見守りのネットワーク構築に向けて取り組みを続けていく。

### 3) 町プロ（町田安心して暮らせるまちづくりプロジェクト）協議会への参画

- ・町プロ協議会は毎回傍聴し、町田市における医療と介護、その他多職種との連携促進の動きを把握した。今年度は広報誌を活用し、お薬手帳カバーの周知広報を行った。

## (2) 認知症とともに生きるまちづくりの推進

### 1) 認知症の早期発見・対応に向けた周知活動と支援

- ・地域住民に高齢者や認知症のことを知ってもらうため、南町田グランベリーパーク内で認知症当事者とともに認知症に関連する絵本の読み聞かせを実施した。来年度も当事者や認知症サポーター養成講座卒業生の意見を反映させながら、認知症施策に取り組んでいく。また、出張相談会や広報誌、イベント等で認知症の相談窓口や関連事業の周知を行い、必要な方には「物忘れ相談事業」に繋げたり、医療勧奨を行った。

### 2) 認知症サポーター養成講座の開催

- ・南1では初の試みであるオンラインでの認知症サポーター養成講座を開催。近隣マンションのボランティア有志の方、東急ストアのスタッフなど幅広い年代が認知症や町田市の認知症施策を学ぶ機会となった。

#### 【2021年度 認知症サポーター養成講座】

開催日	会場	参加人数
9月9日	ZOOM	28名

## (3) 高齢者の意思決定を支援する取り組み

### 1) 虐待の早期発見に向けた普及啓発

- ・前述の地域ケア推進会議の他、芙蓉園デイサービスに対しても虐待の早期発見に向けた研修を開催した。日頃から利用者や家族とコミュニケーションを図り、変化を察知することや、少しでも違和感を感じた際に躊躇せずに管理者やCM、支援センターに相談ができるよう関係性の構築を行った。

### 2) 高齢者の権利擁護

- ・意思決定支援を住民や専門職とともに学び考える機会として、地域で後見人としても活動している司法書士講師の元、成年後見制度と遺言について地域ケア会議を開催すると共に事後アンケートの内容を踏まえた形で再度司法書士講師のもと、ケアマネ事例検討会を開催した。認知症があったとしても本人の意向を尊重したうえで、どう支援を行っていくか学んでいくことができた。

また、南圏域の高齢者支援センターで協働し、町田市社会福祉協議会の職員に講師を依頼し、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度についての勉強会を実施した他、南圏域ケアマネジャー勉強会で、「もしばなゲーム」を活用しACPについて考える講座を開催した。



#### (4) 小川あんしん相談室の運営

- ・コロナ禍のため、小川あんしん相談室に集客してのイベントや講座は見合わせた。家族介護者交流会や家族介護者教室は近隣の原公民館、もしくはオンラインで実施した。総合相談については、通常通り実施した。新規相談が直接あんしん相談室に入ることも多くなっており、ランチとしての周知広報ができています。
- ・今年度はワクチン接種が開始し、5月31日～6月5日と、1月17日～2月12日の2回、ワクチンのオンライン予約サポートを町田市保健所からの委託業務として小川あんしん相談室を活用して実施した。1回目は周知・実施期間が短く、数名の対応に留まったが、2回目では75名の予約サポートを実施した。

## 2. 2021年度 統計

### (1) 総合相談

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	558	521	540	551	575	568	667	720	694	695	553	587	7,229

### (2) 予防プラン件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
直轄	79	79	81	81	73	69	72	77	79	78	69	77	76
委託	167	167	168	168	169	161	161	159	164	165	164	165	165
合計	246	246	249	249	242	230	233	236	243	243	233	242	241

# 【～ほっとステーション～ながれぼし】

## 1. 2021年度 取り組み実績

- (1) 地域住民等の「交流の場」としてコロナ禍の中、住民の方が利用しやすい場の提供は何かできるのか模索していく地域住民等の「集える居場所」として、来所者相互の交流が得られる環境を提供する
  - ・ながれぼしをはじめとして、他の福祉施設でも貸室事業を休止・中止している所は多く、町トシなど室内で行う地域活動が再開できない団体が多い状況がある。これにより、外出や運動、交流の場が減少し、フレイルを促進してしまうおそれがあるため、南第1では、自主活動の代表者の皆様の意見交換が出来る場を設け、地域活動団体の継続支援を行った。
- (2) 地域の多世代交流の拠点として各種イベントに参加・協力する
  - ・地域との多世代交流拠点としての活動実績はなし。
- (3) ながれぼし事業の閉鎖について
  - ・～ほっとステーション～ながれぼしの運営について、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、地域の方のご希望に添える形での運営の見通しが立たないことから場所貸しとしての看板は下げることとし、2022年（令和4年）3月31日を以って閉鎖を決定した。

## 【総務課】

### 1. 2021年度 取り組み実績

#### (1) 人材確保

- ・常勤職員の入職者は23名、退職者数は前年度の19名から今年度は26名と増加した。
- ・職員の補充のために、ホームページ、「ふよなび（園独自の求人サイト）」更新、成果報酬型求人サイト、ハローワーク等の採用活動を行った。新卒者は3名の採用を行うことができた。
- ・コロナ禍により、就職フェア等の開催が中止となったが、オンライン、媒体等を利用して、欠員補充を継続して行った。
- ・特定技能受入機関申請を介護課が主として行い承認された。特定技能外国人として1名の採用に繋がった。今後の更新、受入等の事務処理が煩雑なため、業務委託の検討を行っていく。

#### (2) 適正な事務処理

- ・保守業者や事務消耗品等の業者との折衝を行い、単価の削減に努め、ゴム印、自動ドアの保守料金等の経費削減に繋がった。
- ・利用者の未収金は、担当の相談員と連絡調整を行い、前年度より回収を進めることができた。
- ・昨年度より、感染予防対策のため、交替制でテレワークを継続した。出勤者と協力をして、円滑に業務を行うことができた。在宅でも可能な業務を精査して継続していく。
- ・「新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業」の個別協議、補助対象経費の申請を行った。その原資を基に、職員への危険手当の支給処理を行った。
- ・「高齢者施設等の感染症対策設備整備推進事業」により陰圧装置10機を導入した。
- ・「雇用調整助成金」、その他の補助金の申請についても滞りなく処理を行った。

#### (3) 人材育成・各事業所との連携強化

- ・同じ事務所内にある他部署とのミーティングを行い、双方の環境改善の意見を提案して実行した。
- ・定期的に短時間の職員面談を行い、業務遂行状況の確認等を行ったことにより、習熟度の底上げを図った。

#### (4) リスク管理

- ・計画通りに非常放送設備、業務用洗濯機、乾燥機、厨房冷蔵庫の更新を実施した。
- ・労働災害発生の防止のため、ポスター等で周知を行った。
- ・安全運転管理については、定期的にリーフレットの周知を行った。

## 【栄養課】

### 1. 2021年度 取り組み実績

#### (1) 健康な食事・食環境を多職種連携で整備

- 多職種連携の下、利用者の心身機能や疾病に関するアセスメントを行った。栄養ケアマネジメントに基づいた食事の提供により、利用者の健康維持や増進に努めた。
- 食べやすいように食事形態を変更したり、経口からの食事が困難な方には適切な経管栄養を提供することで、適宜、一人ひとりに安全で最適な食事提供を行った。今後も適切な栄養ケアマネジメントを行い、利用者の食による健康維持に繋げていきたい。

#### (2) 地域の高齢者や家族の食事支援を推進

- デイサービス利用中のみならず、在宅生活における食事支援として、利用者に対して「持ち帰り弁当（夕食用）」サービスを開始した。また、家族の介護負担軽減として、家族介護者に対しても弁当の提供を行い、利用者並びに家族に喜んでいただく事ができた。今後も継続していく。

#### (3) 厨房業務の効率化を検討

- 厨房業務の効率化を図るために、マニュアルに基づいた業務内容の徹底を図ることで、厨房職員の入れ替わりがあったとしても、スムーズに業務を遂行することができた。また、作業の導線を見直したことで厨房職員一人ひとりの作業の効率化を図ることができた。

### Ⅲ. 上総園

## 【特別養護老人ホーム】(定員210名)

### 1. 2021年度 取り組み実績

#### (1) 新型コロナウイルス等の感染症への予防対策を徹底する。

- 上総園では新型コロナウイルス対策本部を設け、感染防止対策の徹底を図ってきたが、2022年1月下旬から2月下旬にかけて、入所者4名の新型コロナウイルス陽性が確認された。発生後は直ちに対策本部を立ち上げるとともに、君津健康保健センター(保健所)や協力病院である千葉芙蓉病院等と情報共有・連携を図りながら、感染拡大防止対策及び罹患者への対応を行った。職員にも多くの陽性者を出す結果となり、入所者への入浴やしクリエーション等、サービス提供の一部を縮小するに至った。
- 2022年度以降は、新型コロナウイルスをはじめとする感染症の予防対策、職員や利用者等への意識付けを継続するとともに、コロナ禍の中で、限られた人員でサービスの質を維持していけるよう、多職種協働体制の強化、業務の効率化等による生産性の向上を図っていく。

#### (2) 効果的な人材育成体制を確立する。

- 新規・中途採用職員の育成を目的とし、介護課については、育成主任・トレーナーを中心とした人材育成体制を構築し、業務指導及び精神面でのフォローに努めた。  
また、採用職員研修やカンファレンス等の場を活用し、課をまたいだ育成支援体制をとることで、各専門職からの助言や指導、交流を図ることにより、チームアプローチの重要性について、理解を深められるよう支援した。  
この他、職員が今まで以上に働きやすい職場環境を目指し、ハラスメント防止体制の整備、研修の実施、5S活動などの活動に取り組んだ。

#### (3) サービスの質の向上を図る。

- 2021年度は新型コロナウイルスの影響により、外部研修の開催が中止、延期になるなどし、職員のスキル向上を図る機会が減少した。リモート等を活用した外部研修に参加した他、下半期からは徐々に参集型の研修が再開しており、感染対策を徹底しながら研修参加を勧奨した。
- 園内研修についても、従来の参集・対面型の研修を避け、資料配布やアンケート等、非対面型の研修を中心に実施した。今後も感染症予防に取り組みながら、サービスの質の向上を図るための研修参加を継続していくこととする。
- 介護課においては、利用者に対して実施するサービスの目的・根拠を明確にするため、介護過程の考え方や介護計画書について、2022年度以降の導入を目指し、検討を開始した。

#### (4) 目標利用率を達成する。

- 新型コロナウイルスの施設への侵入を予防するため、新入所者の選定及び入所にあたっての要件（ワクチン接種の推進、入所前7日間の健康確認等）を厳格化していることから、入所調整に係る日数が延び、空床日数が増す要因となった。
- 新型コロナウイルス対策として入所要件を厳格化したことにより、2021年度は59名の退所者に対し、新入所者が40名に留まった。特に、1月から2月にかけて施設内で発生した新型コロナウイルスの影響により、1月から3月にかけての利用率低下が顕著であった。
- 2022年度以降もコロナ禍の早期収束が見込めない中で、感染対策と入所調整の両立を図り、効率的な入所調整につなげることができるよう職員が一丸となって取り組んでいきたい。

## 2. 2021年度 統計

### (1) 3年間の利用率推移

	2021年度	2020年度	2019年度
目標利用率	96.5%	96.5%	96.5%
実績利用率	93.3%	95.0%	93.4%

### (2) 月別利用率実績（定員210名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
目標利用率 (%)	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5
実績利用率 (%)	97.2	93.8	92.8	92.7	91.8	92.3	91.5	91.0	91.6	91.2	88.8	85.5	91.7
平均利用者数 (名)	204.1	196.9	194.8	194.6	192.7	193.8	192.2	191.0	192.4	191.5	186.5	179.5	192.5
実績利用率 (%) 〔空床利用含む〕	97.6	94.7	93.8	94.4	92.7	94.7	93.3	93.9	94.1	92.5	90.6	87.5	93.3
平均利用者数 (名) 〔空床利用含む〕	204.9	198.9	197.0	198.2	194.6	198.8	196.0	197.1	197.7	194.2	190.3	183.8	196.0

### (3) 入退所状況

#### 1) 入所前生活場所

	在宅	介護保険施設	医療機関	介護保険施設 以外の施設等	合計
男性	3	3	5	0	11
女性	16	8	5	0	29
合計	19	11	10	0	40

## 2) 退所理由

	ご逝去		長期入院	他施設入所		在宅復帰	合計
	上総園	医療機関内		介護保険施設	その他の施設		
男性	6	4	7	0	0	0	17
女性	20	8	14	0	0	0	42
合計	26	12	21	0	0	0	59



## 【短期入所事業所上総園】（定員10名）

### 1. 2021年度 取り組み実績

#### （1）新型コロナウイルス等の感染症への予防対策を徹底する。

- 今年度は一度の緊急事態宣言と二度のまん延防止等重点措置が発令されたこともあり、昨年度に続き新型コロナウイルス感染症予防に従事する一年であった。短期入所利用中の検温、手指消毒をこまめに行うとともに、利用される前の自宅においても検温と体調管理の記録（健康観察カードの記入）をお願いした。しかし、令和4年1月短期入所利用者1名が通所介護利用中に新型コロナ陽性者と濃厚接触、その後当短期入所を利用中に発症、陽性となった事例が発生した。当該利用者については体調悪化も見られ帰宅も困難であったことから、家族、保健所、協力病院と調整を重ね、救急車を要請し、医療機関に入院をお願いすることとした。結果として千葉市内の医療機関に入院する運びとなった。また、同時に利用していた利用者及び同フロアにて対応にあたった職員についてはPCR検査を行った結果、利用者1名が陽性となり、さらに数日後介護職員数名の感染者もみられた。その結果、令和4年1月20日から3月7日まで期間帰宅困難な利用者以外は帰宅いただき、受け入れを中止し、施設内ゾーニングと設備の消毒にあたった。その後、3月8日以降の受け入れ再開に合わせ、新型コロナウイルス感染症防止のための利用指針及び健康観察カードを改め、利用者及び家族の自宅での状態把握に努めるとともに体温37.0℃以上の発熱時には利用を控えるよう理解を求め感染予防を強化した取り組みを行った。

#### （2）利用者のニーズを把握し、希望に対して円滑にサービス提供をする。

- 利用日程や送迎方法など利用については、可能な限り利用者家族の要望に沿ったサービス提供に心がけた。君津四市高齢者福祉施設連絡協議会緊急ショートステイ受け入れ事業については、新型コロナウイルス感染予防の観点と緊急保護的な役割の両立が難しく、医療機関を受診し抗原検査もしくはPCR検査にて陰性である事を確認するよう、行政に申し入れを行った。

#### （3）多職種協働により個別ケアを強化する。

- 個別機能訓練では、毎月体力測定の日を定め身体機能の評価と把握をする取り組みを実施した。また昨年度からの継続事業として個別機能訓練計画と生活アドバイスシートを作成、利用者家族に発行し利用中の様子を家族へ知らせるツールとした。また、利用中に作業活動に参加した方には作成した作品を帰宅時にお土産として持ち帰ることで利用中の活動内容がわかるよう取り組んだ。また、送迎の機会を利用して機能訓練指導員も自宅へ訪問し、家族より家での生活の様子や環境をアセスメント、リハビリの内容を説明する取り組みを行った。

#### （4）目標利用率を達成する。

- 今年度は利用率93.0%を目標にサービス提供を行った。4月～12月までの平均利用率は91.8%となっていたが、前述の通り1月20日から3月7日の期間、短期入所受

- け入れを中止した影響で年間平均利用率は79.5%まで低下した。3月8日以降、新たな利用指針に則った事業運営を行い、感染症対策を講じつつ利用者の受け入れを目指した。
- 次年度についても、利用指針の遵守と随時見直しを行う事で利用者、職員の安全を確保し、短期入所事業を中止することなくサービス提供を継続することで、在宅介護をされている利用者家族を支えていきたい。

## 2. 2021年度 統計

### (1) 3年間の利用率推移

	2021年度	2020年度	2019年度
目標利用率	93.0%	93.0%	93.0%
実績利用率	79.5%	85.5%	89.5%

### (2) 月別利用率実績（定員10名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
目標利用率 (%)	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%
実績利用率 (%)	90.7%	91.6%	93.3%	90.0%	91.0%	90.7%	93.2%	92.3%	93.5%	76.8%	21.4%	29.0%	79.5%
平均利用者数 (名)	9.07	9.16	9.33	9.00	9.10	9.07	9.32	9.23	9.35	7.68	2.14	2.90	7.9

## 【上総デイサービスセンター】(定員25名)

### 1. 2021年度 取り組み実績

#### (1) 新型コロナウイルス等への感染症予防の徹底。

- 今年度も昨年に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大により蔓延防止等重点措置、緊急事態宣言が発令された。デイサービスにおいても1月に1名、2月に1名の利用者に感染が確認され、即日に利用者及び職員のPCR検査を実施した。感染症予防の取り組みに関しては、送迎車両の車内、センター内の消毒や換気の実施、従前3回であった体温測定を4回とし、デイサービスセンター到着直後にも検温する等の感染予防策を講じた。また、体温測定カードの作成、37.0°以上の発熱や風邪症状がみられた際は利用を控えていただけるよう文書を配布し、理解を求められるよう取り組みを行った。

#### (2) 地域住民のニーズを把握し、希望に対して柔軟なサービス提供をする。

- 地域ニーズの把握では、自宅に訪問しての担当者会議などは新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から自粛し、書面での開催を余儀なくしたが、送迎時など直接会うことのできる場面を活用しニーズの把握に努めた。

#### (3) リハビリやイベントの充実により個別ケアを強化する。

- 個別機能訓練においては、月初めにアセスメントチェックを行うことで個々の状態や在宅での課題を把握し、在宅生活が継続して送れるよう取り組んだ。また、イベント関連においては毎月レクリエーションや創作活動などの企画を実施し、普段とは違った楽しみを持った取り組み活動を行った。

#### (4) 目標利用率を達成する。

- 2021年度は新規利用者として24名の受け入れを行ったものの、26名の中止者がみられた。キャンセルや空き枠の活用として臨時利用希望者を募り、利用者の積極的な受け入れに努めたが、本年度は新型コロナウイルスの感染拡大により下半期には1月に1名、2月に1名の利用者感染が確認され、一時的に利用を控える利用者もみられた。また、感染確認により合計18日間の営業休止期間もあり新規受け入れにも遅延が生じた。
- 次年度もデイサービス通信や上総園ホームページに活用、各居宅介護支援事業所との情報共有を密にしながらシームレスなサービス利用の向上を目指していきたい。

## 2. 2021年度 統計

### (1) 3年間の利用率推移

	2021年度	2020年度	2019年度
目標利用率	85.0%	85.0%	85.0%
実績利用率	78.7%	83.4%	81.3%

### (2) 月別利用率実績 (定員25名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
開所日数 (日)	21	18	22	20	21	20	21	20	21	19	18	22	-
目標利用率 (%)	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
実績利用率 (%)	85.0	86.7	87.6	88.8	87.4	85.0	83.2	83.4	84.8	53.3	44.4	75.3	78.7
平均利用者数 (人)	21.2	21.6	22.5	21.9	22.5	21.8	20.8	20.8	21.1	13.3	11.1	18.8	19.8

## 【居宅介護支援事業所上総園】

### 1. 2021年度 取り組み実績

#### (1) 新型コロナウイルス等の感染症の対策を実施し事業継続に努める。

- ・コロナウイルス感染症の感染対策を徹底し、できる限り利用者宅を訪問してモニタリングを実施し、利用者や家族の状態把握を行い、円滑なサービス利用が継続できるように支援に努めた。BCPについても状況に応じて必要な見直しを行うと共に、利用者やその家族に対しても、感染予防と健康管理の徹底、積極的なワクチン接種等について啓発を行った。

#### (2) 自立支援型ケアマネジメントの実践。

- ・住み慣れた地域で利用者の能力に応じて自分らしく主体的に生活ができるよう、積極的に地域の医療機関やサービス事業所と連携を図った。対応困難なケースがみられた場合は事業所内で情報共有と事例についての検討を行い、ニーズに即して併設する東部地域包括支援センターと連携して対応にあたった。また、コロナウイルス感染症の影響でオンラインによる研修が殆どであったが、地域包括支援センターや君津市介護支援専門員協議会等の職能団体が主催する研修会に可能な限り参加し、参加職員が他の職員にフィードバックし、個々の介護支援専門員のスキルアップに努めていった。

#### (3) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み。

- ・コロナウイルス感染症により地域ケア会議の開催がなく、地域ケア会議に参加する機会はなかったが、日々のケアマネジメントの場面において、地域ニーズや課題、必要な社会資源等の把握に努めていった。今後も住み慣れた地域でその人らしい生活を継続できるよう、積極的に認知症支援や医療・介護・福祉の充実と連携を図っていきたい。

#### (4) 目標利用件数を達成する。

- ・居宅介護支援事業における、ケアプラン作成依頼の件数や1人当たりの担当件数については、昨年度同様に要支援者がやや減少し、要介護認定者が僅かに増加しているが、大きな変化はみられていない。これは君津市東部地域包括支援センターから、要介護認定の利用者の依頼が多くみられたことが要因であると思われる。来年度も君津市東部地域包括支援センターや医療、関係機関等からの相談に対しても積極的に受け入れていきたい。

## 2. 2021年度 統計

### (1) 月別利用率実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標件数	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	1,440
要介護	91	91	93	99	105	96	100	93	100	99	92	100	1,159
要支援	21	21	21	20	20	20	21	20	21	19	17	17	238
総件数	112	112	114	119	125	116	121	113	121	118	109	117	1,397
1人当たりの 担当件数	37.3	37.3	38.0	39.7	41.7	38.7	40.3	37.7	40.3	39.3	36.3	39.0	38.8

## 【上総園ふれあいデイサービスセンター】(定員44名)

### 1. 2021年度 取り組み実績

#### (1) 新型コロナウイルス感染症予防に徹し、利用者・職員への感染を防ぐ

- 職員の体温測定、日本財団による毎週のPCR検査、館内消毒、換気、利用者の体温測定、健康把握等感染予防に努めたが、令和4年2月に職員及び利用者の感染者が発生した。
- 職員からの発症であったが職員発症前に利用者宅での家族発症が判明し発症経路が不明の為、全職員、全利用者を対象に日本財団PCR検査を行った。独居利用者や検体採取が困難な利用者には職員が訪問し検体採取し利用者3名、職員6名合計9名の感染者を確認した。
- 収束するのに2週間要しその間デイサービスは休業した。N95マスク、フェースガード、ガウン、手袋等使用し、職員の防疫体制を確立したうえで発症独居利用者には療養期間終了時まで毎日訪問し体温測定、酸素飽和度測定を行い保健所への報告を代行した。また、独居利用者には訪問し様子観察し、介護困難な家庭にも訪問し清拭等を行った。
- 現在、職員においては2重マスク、フェースガード、定時体温測定、手指消毒の徹底、環境面では利用時間中換気、毎終了時には館内消毒を行っている。
- 利用者に対しても迎え時の体温確認、送迎車乗車時の手指消毒、来所時体温測定、手指消毒、健康観察等を行い感染予防に取り組んでいる。

#### (2) 地域住民のニーズを把握し、利用希望に対して円滑にサービス利用に繋げる

- 老人デイサービス、障害デイサービスとも利用希望容数が最も多いのは「入浴」となっている。特殊浴槽を活用し中重度の要介護高齢者、全介助状態の障害者の入浴に取り組んだ。また、「リハビリ」希望の利用者も多く、ふれあいデイサービスの長い廊下を利用しての歩行訓練、リハビリ器具を利用しての運動等「リハビリ」にも取り組んでいる。「入浴」「リハビリ」とも介護員、看護職員が協働して行った。

#### (3) 医療ニーズへの対応

- 老人デイサービスには「在宅酸素」利用者が1名、障害デイサービスには「胃瘻」造設者が3名、「たん吸引」が必要な利用者2名が在籍している。ご家族、主治医の指示のもと、酸素量チェック、胃瘻時の注入処置など安全利用に努めた。

#### (4) 機能訓練・リハビリ機能の強化

- 利用者ニーズも高く、看護職員、介護職員で対応した。ふれあいデイサービスの長い廊下を活用し利用者も歩行訓練に取り組んだ。作業療法面では、利用者全員で「壁面」作成に取り組んだ。その他、折り紙作成での手指活動、クロスワードやナンプレなどの脳トレも手芸用品、文具、教材を購入し行った。

#### (5) 老人デイサービス69.5%、障害デイサービス45.0%の目標利用率を達成する

- 老人デイサービスについては令和4年1月までの利用率は74%であったが、2月のコロ

ナ休業により年間利用率は69.7%となった。

- ・障害デイサービスは年度途中で施設入所した利用者もあり令和4年1月までの利用率は44.6%であったが、2月のコロナ休業により年間利用率は42.4%となっている。

## 2. 2021年度 統計

### (1) 3年間の利用率推移

#### 1) 老人デイサービス

	2021年度	2020年度	2019年度
目標利用率	69.5%	78.0%	70.0%
実績利用率	69.7%	71.0%	74.2%

#### 2) 障害者デイサービス

	2021年度	2020年度	2019年度
目標利用率	45.0%	50.0%	50.0%
実績利用率	42.4%	50.2%	55.7%

### (2) 月別利用率実績

#### 1) 老人デイサービス (定員34名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
開所日数(日)	26	26	26	27	26	26	26	26	24	24	24	27	-
目標利用率(%)	69.5	69.5	69.5	69.5	69.5	69.5	69.5	69.5	69.5	69.5	69.5	69.5	69.5
実績利用率(%)	76.4	71.6	69.9	73.6	76.7	75.7	75.3	75.6	75.0	70.0	28.6	67.9	69.7
平均利用者数(人)	26.0	24.3	23.8	25.0	26.1	25.7	25.6	25.7	25.5	23.8	9.7	23.1	23.7

#### 2) 障害者デイサービス (定員10名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
開所日数(日)	26	26	26	27	26	26	26	26	24	24	24	27	-
目標利用率(%)	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0
実績利用率(%)	43.1	46.5	45.4	44.4	43.1	42.7	44.2	44.2	46.7	46.3	18.8	42.6	42.3
平均利用者数(人)	4.3	4.7	4.5	4.4	4.3	4.3	4.4	4.4	4.7	4.6	1.9	4.3	4.2



# 【君津市東部地域包括支援センター】

## 1. 2021年度 取り組み実績

### (1) 感染症予防対策を施しながら総合相談支援事業の実施

- 総合事業では延べ1944件の相談対応を行い、前年度より606件増加した。リハビリや認知症に関する相談が多く、コロナ禍によって高齢者の心身の廃用低下が進んだのが増加した要因と考察できる。
- 相談内容はサービス（介護保険以外のサービスも含む）に関するものが最も多く、介護サービス計画書の作成依頼、生活困窮に起因する相談と続いた。ケアマネジャーについては、東部地区は元々事業所が少ない地域ではあったが、最近では君津市全体で居宅介護支援事業所のケアマネジャーが不足している傾向がある。要支援の方は東部包括が直接受け持つことでケアマネジャーの負担を少しでも軽減し、要介護の方が迅速にサービスにつながるようつとめた。

### (2) 自立支援につながる指定介護予防支援事業の実施

- 1か月あたりの予防プラン（直轄）の利用件数は52.6件で、前年度より7件減少した。これは退職した職員の補充ができなかったことに伴うもので、一人当たりの担当件数は13件で1件増加している。
- 計画書の内容についてはサービス内容や目標を多職種連携のもと利用者の方と一緒に考えるなどして、自立支援につなげた。

### (3) 他機関と連携した権利擁護の取り組み

- 今年度は3件の虐待の通報があり、高齢者支援課と協働し対応にあたった。通報して家族が精神疾患を抱えていたり、引きこもりの息子が父親に包丁をつきつけたりするなど、対応困難なケースもみられた。こうした事例では、君津市高齢者支援課だけではなく警察とも連携するなどして慎重に対応を行った。
- 継続的包括的支援事業の一環として、地域のケアマネジャーと一緒に「虐待について」と「成年後見制度」についての研修を開催した。初の試みとなるオンラインでの研修だったが、参加したケアマネジャーからは「移動時間がかからなくて良い」「制度のあいまいなところが整理できた」といった声が寄せられた。

### (4) 地域ケア会議の開催・協力

- 11月と12月に、君津市地域包括支援室が開催する自立支援型地域ケア会議の運営協力を行った。内容は、事例を発表するケアマネジャーとの連絡調整や当日オブザーバー役としての参加などであった。個別の地域ケア会議に関しては、新型コロナウイルスの影響で控えていた部分があるが、2022年度は積極的にケアマネジャーに声掛けをしていき開催につなげていきたい。

## 2. 2021年度 統計

### (1) 予防プラン件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
直轄	52	54	57	55	54	54	52	50	51	50	52	50	53
委託	94	94	93	90	88	88	88	87	86	85	78	74	87
合計	146	148	150	145	142	142	140	137	137	135	130	124	140

### (2) 総合相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	217	144	135	113	142	131	159	170	159	159	195	220	1,944

## 【総務課】

### 1. 2021年度 取り組み実績

#### (1) 新型コロナウイルス等の感染症予防を最重要項目として対策に取り組んでいく。

- ・新型コロナウイルス感染症においては、①水際対策②細かな検査③ワクチン接種が重要とされており、職員自身が感染・媒介することの不安を感じながら仕事をしなくても済むように、そしてご利用者の方々の命を守ることを目的に、新型コロナウイルス感染症にかかる出勤可否の判断基準を設け、全職員対象で職域接種によるワクチン接種およびPCR検査を毎週1回受け感染防止対策を行った。
- ・N95マスクやグローブ、ガウン等の感染症対策用の物品の在庫管理と確保に努め、適切な感染症予防対策に結びつき、適切なケアへ繋がった。
- ・新型コロナウイルス感染症発生による、かかり増し経費、雇用調整助成金、サービス提供体制確保事業費申請手続きにあたっての情報収集と関係機関との調整を行った。

#### (2) 介護報酬改定に対応した適切な運営を行う。

- ・令和3年度介護報酬改定の概要を踏まえ、新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で「感染症や災害への対応力強化」を図るとともに、「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止の取組の推進」、「介護人材の確保・介護現場の革新」、「制度の安定性・持続可能性の確保」の構築するため、新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画（BCP）の作成、次年度にADL維持等加算取得に向けてLIFEの登録を行い、情報提供を行った。

#### (3) 必要な人材確保を行い働きやすい職場環境の向上を図る。

- ・令和3年度の常勤採用者11名、非常勤採用者4名、常勤退職者8名、非常勤退職者4名非常勤から常勤への転換者1名であった。職員全体としては増員できているものの、看護職については1名退職があり、看護職員の求人サイト等で活動を行ったが、採用にはいたらなかった。今後も引き続き看護職員の人材確保を行い職員の負担を減らして働きやすい職場環境を整えていく事に努めたい。
- ・今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、職員の福利厚生である親睦会や忘年会等が開催できず、職員の親睦の機会が失われた。職員互助会と協同して全職員に慰労の意味も含め職員にクオカードを贈った。来年度の実施も見通しが立たない状況であるが、職員の意見や要望を聞く機会が減少したため、安全衛生委員会と協同し職員の声や要望を集め、意見を提案しやすい環境の構築に努めた。
- ・千葉県介護ロボット導入支援事業費補助金を活用して「IT・機器等を活用した介護サービスの質・生産性向上」を進めていくためセンサーベッド30台の申請を行った。メーカーの都合で半導体の生産が間に合わず納入が次年度の予定である。次年度も補助金等を活用しながら、設備機器も現状の把握を行い、利用者の安全・安心の創出、介護の現場職員がより専門性を発揮できるよう職場環境作りを目指していくこととしたい。

## 【栄養課】

### 1. 2021年度 取り組み実績

#### (1) 新型コロナウイルス等の感染症への予防対策を徹底する。

- 1) 職員自ら健康観察カードや行動履歴表を記入することで、体調の自己管理への意識づけを行った。また、本人及び同居家族の健康状態把握につとめ、体調不良時には迅速に情報共有を行い、業務が遅延することのないよう配慮した。
- 2) 手洗い、手指消毒、マスク、休憩時の黙食や3密防止、厨房稼働時の換気を心掛けた。
- 3) 次亜水、アルコールを用いて、手が触れるドアノブやスイッチなどの消毒を、1日3回実施した。

#### (2) サービスの質の向上を図る。

- 1) 上総園における栄養ケア・マネジメント体制に基づき、多職種協働の下、利用者の栄養状態の維持や増進につとめた。  
低栄養状態のリスク分類の割合は、高リスク者が5.9%、中リスク者が29.2%、低リスク者が64.9%であり、昨年の数値と比べて大きな差異は見られなかった。  
一方、体重減少率を見ると、体重が5%以上減少した利用者は33.2%となり、過去5年の数値の中で最大となった。その内訳を多床室と個室で分類し集計すると、個室が26.8%であるのに対し、多床室は47.3%と差が見られた。これは、体調不良者の延べ人数が多床室の方に多かったためと推測される。今後も適切なアセスメントを行い、利用者の健康管理に繋げていきたい。
- 2) 通常のサイクルメニューの中に季節感のある献立を盛り込み、満足度の高い食事を提供する方針であったが、前年度末から常勤職員、非常勤職員の病気療養が相次ぎ、長期的に人材不足となった結果、特別な食事を提供する機会を多く作ることができなかった。  
次年度は、人材確保はもとより、人材が不足した中でも満足度の高い献立を提供できるようつとめていきたい。
- 3) フロアとの連携により「手作りおやつ」の機会を設けるとの目標を掲げていたが、新型コロナウイルスによる感染症に落ち着きが見られず、実施に繋げることができなかった。  
次年度は、感染症の状況をみながら「手作りおやつ」の提供方法を検討していきたい。

#### (3) 2021年度 総括

- 1) 前年度から引き続きコロナ禍で落ち着いた情勢の中、利用者や職員にも陽性者や濃厚接触者が出現し、1月末から2月末にかけて感染症対策体制を余儀なくされたが、利用者の食事や配食サービスは滞りなく提供することができた。
- 2) 栄養マネジメントに関しては、医療ニーズの高い利用者など困難事例が増加傾向にあり、質の高いマネジメントが求められている。しかしながら、栄養マネジメント強化加算の算定要件には管理栄養士の人員配置が満たせておらず、今後も検討が必要と思われる。

## IV. 文京拠点

# 【文京湯島高齢者在宅サービスセンター】(定員35名)

## 1. 2021年度 取り組み実績

### (1) 利用者の個性を尊重し、個々の意向に沿った質の高いサービスを提供する。

- 1) 週一回のケースカンファレンスや毎日のミーティング、不参加の職員でも閲覧できる方法を施し、個々の利用者の細かい情報を多職種間で共有しつつ、サービスの質の向上につなげることができている。
- 2) 「デイサービスの可視化事業」(東京大学成瀬先生)の共同研究は継続中である。

### (2) 職員の資質向上と共通認識が図れる体制作りを力を入れる。

- 1) 施設内研修・施設外研修の参加により職員の資質向上につなげることができている。
- 2) 会議や打ち合わせ、ミーティングなどの細かな会議全てで会議録を作成した。
- 3) 閲覧の方法を工夫したことで情報の周知を図った。

### (3) 活動プログラムを充実する。

- 1) 来所時にやりたい活動を確認(自己選択)継続したことで、さらに意欲的に集中して取り組む利用者が増えた。
- 2) 半年ごとに活動毎の振り返り・担当の変更を行うことで改善点が見直され、活動内容の充実につながっている。

### (4) リハビリサービスを充実する。

- 1) 「集団リハビリ」での「ストレッチ・健口体操」に加えて、「文の京体操」、「機能別の小集団リハビリ」での道具を用いたトレーニングを実施し習慣化されるに至った。  
「個別リハビリ」では個々人に必要な筋力トレーニングや歩行訓練を継続している。
- 2) 年度途中での機能訓練指導員1名の退職に伴い、「文京昭和高齢者在宅サービスセンター」の機能訓練指導員が兼務している。

### (5) 目標稼働率75%を達成する。

- 1) 上半期は65.0%と低迷したが、下半期は76.9%と持ち直してきている。年間利用率は71.0%と目標達成(75.0%)には至らなかった。  
年間の新規利用者は53名、終了者は39名と昨年度(新規13名・終了38名)に比べて新規利用者獲得は大幅に増加したが、新型コロナウイルス感染症による影響(不安から利用を控える方、実際に感染した方、それに伴う濃厚接触者の方、ワクチン接種で休む方など)により利用率は目標に届かなかった。
- 2) 事業所の魅力が伝わるよう「ゆしま便り」「パンフレット」を新しく作り直した。
- 3) 利用率改善に向けて、居宅介護支援事業所の意見を受け、改善点はすぐに対応した。
- 4) 「文京昭和高齢者在宅サービスセンター」にも協力してもらい、近隣の居宅介護支援事業所へ電話や訪問、「ゆしま便り」「パンフレット」「空き情報」送付の営業を行った。

## 2. 2021年度 統計

### (1) 3年間の利用率推移

	2021年度	2020年度	2019年度
目標利用率	75.0%	80.0%	80.0%
実績利用率	71.0%	67.0%	77.2%

### (2) 月別利用率実績（定員35名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
開所日数(日)	26	26	26	27	26	26	27	26	24	24	24	27	-
目標利用率(%)	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0
実績利用率(%)	60.9	61.2	62.1	67.8	64.7	73.7	77.7	80.3	81.0	72.6	71.5	78.0	71.0
平均利用者数(名)	21.3	21.4	21.7	23.7	22.7	25.8	27.2	28.1	28.4	25.4	25.0	27.3	24.8

# 【文京昭和高齢者在宅サービスセンター】(定員45名)

## 1. 2021年度 取り組み実績

### (1) 職員の個性や意思を尊重した育成強化を心掛ける。

- 1) 活動や接遇、事故防止について意見交換の機会を増やすことで、情報の共有が図れた。
- 2) 新任職員の育成・教育に関して OJT 担当を設け、さらに定期的に主任・副主任とも話し合いの機会を持った。また、OJT 担当職員も複数人で交代しながら、それぞれの職員の個性を生かした育成を行ってきた。
- 3) 「デイサービスの可視化事業」(東京大学成瀬先生)の共同研究は継続中である。

### (2) 活動プログラムを充実する。

- 1) 「創作」「いきいき」「ほのぼの」「昭和塾」「麻雀・将棋」の各活動グループ担当が、昨年度の反省を踏まえ、見直しを行ったことにより、新たに利用者の興味ある内容が提供できた。
- 2) 「中重度ケア体制加算」の算定がなくなったことで、活動の職員配置人数を減らさざるを得なかったが、活動プログラムの提供方法について見直しを行い、これまでと変わりなく対応できている。

### (3) リハビリサービスを充実する

- 1) 「集団リハビリ」(ストレッチ・健口体操/文の京体操)、道具を用いた「機能別の小集団・個別リハビリ」で十分な運動量の提供ができていたが、今年度はプログラムメニューを増やし、更なるトレーニングの充実が図れた。
- 2) 個別機能訓加算を算定していない利用者にも機能訓練の必要性について働きかけを行い、今年度は全員に対して加算を算定出来た。対象人数が増えたが、介護職と協力したことで、利用者全員へ機能訓練を実施することが出来た。

### (4) 記録類を整備する

- 1) 会議や打ち合わせ、ミーティングなどの細かな会議全てで会議録を作成した。併せて、記録の保管方法の整備を行った。

### (5) 健全な運営を図るために、目標利用率85.0%を達成する。

- 1) 上半期の利用率は 72.9%と低迷し、下半期は 82.6%と持ち直したが、年間利用率は 77.7%と目標達成には至らなかった。  
年間の新規利用者は30名、終了者は26名で、昨年度(新規30名・終了38名)より、終了者は減ったが、新型コロナウイルスの感染者の発生や不安・濃厚接触者による利用控え、ワクチン接種のための休み等、新型コロナウイルスの影響が大きく、利用率は目標に届かなかった。



## 2. 2021年度 統計

### (1) 3年間の利用率推移

	2021年度	2020年度	2019年度
目標利用率	85.0%	90.0%	88.0%
実績利用率	77.7%	77.3%	93.6%

### (2) 月別利用率実績 (定員45名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
開所日数 (日)	26	26	26	27	26	26	26	26	24	24	24	27	—
目標利用率 (%)	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
実績利用率 (%)	72.6	63.2	71.1	75.1	77.8	77.4	80.9	81.5	83.6	86.4	78.9	84.2	77.7
平均利用者数 (名)	32.6	28.4	32.0	33.8	35.0	34.8	36.4	36.6	37.6	38.9	35.5	37.9	34.9

# 【昭和介護保険サービスセンター】

## 1. 2021年度 取り組み実績

### (1) コロナ禍での在宅生活継続のための支援

1) コロナ禍ではあったが、マスクの着用、消毒等の感染対策を講じて居宅訪問を行い、利用者および家族の不安を少しでも取り除けるよう努力した。

### (2) 文京区内の他事業所との連携の充実

1) 文京区主催の連絡協議会や研修会を始め、病院のカンファレンスや勉強会などに感染対策のためオンラインを用いて参加した。

### (3) 健全な運営のため、目標計画作成件数70件の達成

1) 介護支援専門員の増員に伴い、目標件数を70件としていたが、年間を通して目標件数を上回ることができた。(77件)

## 2. 2021年度 統計

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標件数	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	840
実績	要介護	71	70	74	73	78	75	77	83	79	84	85	934
	要支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	総件数	71	70	74	73	78	75	77	83	79	84	85	934
	1人当たりの 担当件数	30.0	24.0	25.0	25.0	26.0	25.0	26.0	28.0	27.0	28.0	29.0	29.0